



INNOVATION

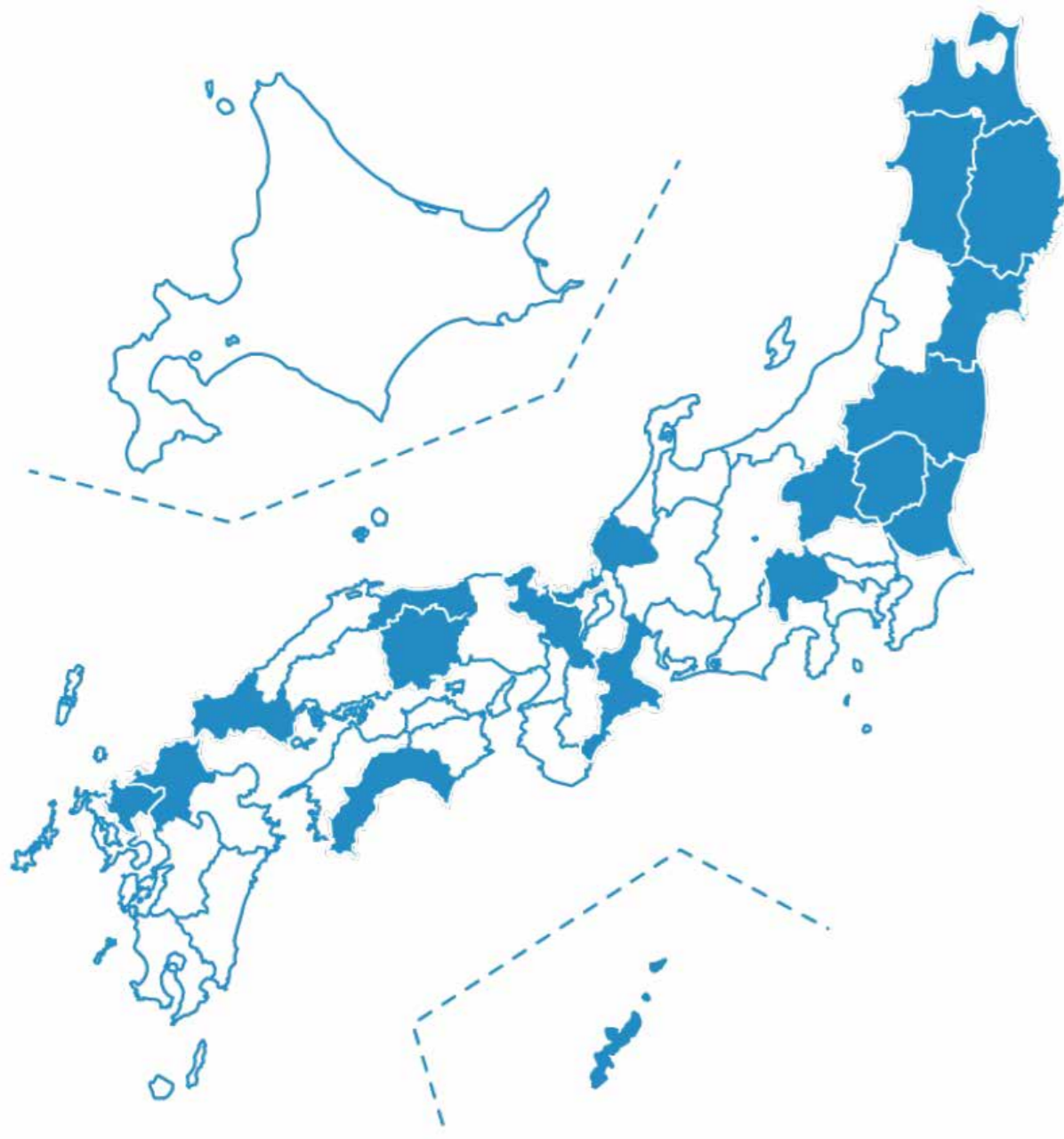
広域化・共同化計画の策定支援

人・モノ・カネの課題解決のために

広域化・共同化計画は、使用料収入の減少や職員数の減少、施設更新への対応策のひとつとして、自治体をまたがる**ハード的な統廃合**や**ソフト的な連携メニュー**を検討し、今後20年～30年のロードマップを策定することを目的としています。自治体単独では対応困難な課題を、**スケールメリット**や**連携効果**を活用することにより改善します。

受注実績

全ての都道府県で令和4年度までの策定が求められています。弊社では19府県の計画を支援しています。多くの経験をもとに、個別の要望に沿った提案を行い、計画策定をサポートします。



『広域化・共同化計画の支援状況』
(令和元年度～3年度の実績)

今後の展開

広域化・共同化計画策定後は、各自治体で各メニューに対する具体的な検討を実施する必要があります。

日水コンでは各メニューに合わせた商品や検討方法を取り揃えております。

持続可能な下水道事業の運営の手助けとなるよう、広域的かつ地域の状況に応じたご提案、サポートを行います。

お気軽にご相談ください。

支援内容

自治体の意向確認とともに様々な条件より、有効なマッチング案を提案し、効果を定量的・定性的に検討します。

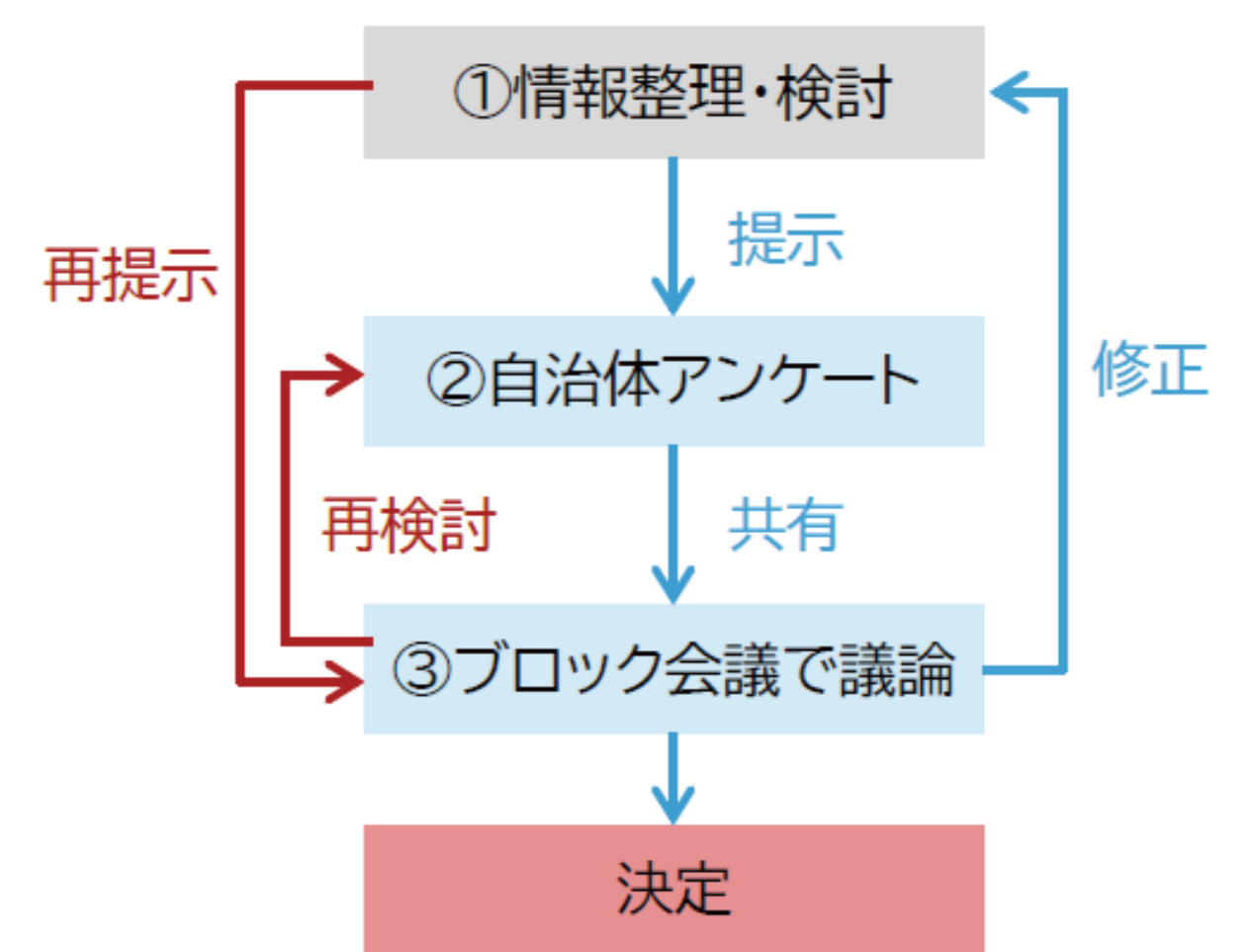
『検討ケースの設定条件例』

検討メニュー	設定条件例
①施設の統廃合	処理場間距離5km以内
②汚泥処理の共同化	維持管理費単価が平均以上
③維持管理の共同化	委託業者が共通
④料金改定の共同化	現料金体系の経過年数が同程度
⑤庁内事務の共同化	希望自治体と隣接している自治体

アンケートとブロック会議を効率的に組み合わせ、合意形成を進めます。



『合意形成の手順例』



令和元年度に実施したWeb会議のデモも、今では当たり前になりました。



『計画策定後に想定される検討』

広域化・共同化メニュー	想定される今後の展開
①水処理の統廃合・汚泥処理の共同化	基本検討、設計、PPP
②維持管理の共同化	基本検討、設計、PPP、Blitz GIS導入
③履行監視・運転監視業務の共同化	CM、第三者モニタリング
④台帳システム整備・保守の共同化	Blitz GIS導入(クラウド型管路台帳)
⑤各種計画策定業務の共同化	SM計画や料金改定業務



次はどうしたらいいの？
日水コンに聞いてみよう！

ソフトもハードも
当社が
アレンジします

One for all All for one

